

まちかど アルバム



市役所本庁舎

バイオディーゼル燃料でエコ 「くる梨」廃食用油燃料の使用実験運行開始

100円循環バス「くる梨」へ家庭から排出される植物性廃食用油を精製したバイオディーゼル燃料を使用する実験運行の開始式が、10月1日(土)に市役所本庁舎玄関前で行われました。燃料の提供元である鳥取環境大学の古澤巖学長から手渡されたバイオディーゼル燃料を、竹内市長が「くる梨」へ注入後、運行を開始。使われる燃料は、軽油にバイオディーゼル燃料を4分の1の割合で混合したもので、軽油だけの場合と比較し、黒煙が約40%、粒子状物質が約20%減少することが見込まれます。鳥取市は、地球温暖化防止と循環型社会構築へ今後も積極的に取り組みます。

気高町睦逢

伝統漁法「うぐい突き」

10月10日(月)、気高町睦逢の大堤で、400年以上の歴史を誇る伝統漁法「うぐい突き」が行われました。これは1年に1回、堤の水抜きにあわせて行われる行事で、「うぐい」とよばれる竹で編んだ漁具を水中に突き立てて魚を獲る漁法です。参加者は肌寒い気温のなか、腰まで水につかって奮闘。冷えた体を、振る舞われた熱々の「うぐい鍋(鯉こく)」で温めました。



用瀬町総合福祉センター

大盛況「木村研さんと手作りおもちゃで遊ぼう!」

10月12日(水)、用瀬町総合福祉センターで、児童文学作家の木村研さんを講師に「木村研さんと手作りおもちゃで遊ぼう!」が開催されました。当日は佐治町、用瀬町の保育園児とその保護者約80人が参加。木村さんは「おもちゃ作りは楽しもうとする心がいちばん」と話しながら、牛乳パックなど身近な素材を利用したおもちゃ作りを実演しました。どれも5~10分で完成してしまうとあって、終わるころには子どもたちのまわりはおもちゃでいっぱいになりました。



きなんせ広場 ほか

よ〜っ、決まった! 「鳥取三十二万石お城まつり」

鳥取の秋を彩る風物詩「第6回鳥取三十二万石お城まつり」が、8日(土)・9日(日)の2日間にわたり、智頭街道沿いの「きなんせ広場」一帯で開催されました。祭りのメインとなった8日には、江戸時代の参勤交代を再現した「時代行列」、奴姿の若者が現代音楽に合わせて踊る「奴踊り」のほか、久松山には「一夜城」が出現。また、今回初めてのイベントである輿担ぎ競争「平成輿合戦」も開催され、大いに盛り上がりました。

